



城陽おひさまプロジェクト news

第23号 2016年8月27日 NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会
(0774-55-4190)

ヨーロッパと京都の再エネ最新情報の講演と我が家の省エネ診断会

低炭素で、かつ元気な地域や暮らしづくりに取り組む木原さん（温暖化防止活動推進センター事務局長）に最新のドイツ再エネ情報や京都での事例をお話しいただきます。そして、地球にやさしいことは、家計にもやさしいことを実感していただく「省エネ診断」も実施します。省エネ・再エネで豊かな暮らしが実現を、この講演会はそのスタートです。

入場無料 事前申込不要

城陽市後援申請中

- 日 時：10月29日(土) pm2時から4時30分
- 場 所：ぱれっとJOYO会議室（JR城陽駅東）
- テーマ：省エネ・再エネは地球・地域
そして家計にも、やさしい！
- 講 師：木原 浩貴 氏

（京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長）

講演会終了後 省エネ診断会を開催します。こちらにもぜひご参加下さい

会場には手廻し発電機や電気チェッカーなどのグッズを用意しています。

詳しくは別添チラシをご覧ください



DATA_ID - 2814155

2016 年度第1回発電設備設置協力金の募集！

10号機・安田発電所用（城陽市寺田塚本）

今年度第1回のソーラパネル設置が決まりました。西城陽中学校近くの農業用倉庫の屋根に設置されます。塚本集落の西端に位置しています。出力は5.565kw、募集金額は165万円です。

自宅に設置されて太陽光発電の良さを実感されているみなさん、

自宅設置は困難だけど応援したいと思っておられるみなさん、

原発ゼロ、地球温暖化防止と再生可能エネルギー普及への貢献を願うみなさん、

環境を守る「こころざし」あるお金を地域で役立て、循環させましょう。

会員の皆様の熱き想いと意志のこもった設置協力金の拠出をお願いします。

9年間の借入金とし、毎年元金返済します。詳しくは別添の募集要項をご覧ください。



地域力再生P交付金事業に今年度も採用されました

京都府の地域力再生プロジェクト支援事業の交付金を昨年度に引き続き受けられることになりました。5月の講演会などの講演事業、今すすめているホームページ作成事業などが対象となり、京都府などから3分の2が補助されます。

城陽市が雨水タンク購入に補助金、 今年度から4分の3の補助で上限45,000円まで

雨水を活用して、節電や節水、災害時の生活用水に利用できます。また、雨水タンクはミニダムの役割を果たしますので、川や下水道の氾濫防止にもつながります。ぜひ活用してください。

詳しくは城陽市環境課（☎ 56-4061）へ。

◇気候ネットワークの賛助会員として入会しました。環境問題や地球温暖化等に関する資料・ニュースの配信を受けて、活動をより豊かにすることができるようになります。

◇温暖化防止活動推進会議に入会しました。同会議は京都府地球温暖化防止活動推進センターを運営しているNPO法人です。本会発足以来、手廻し発電機や省エネグッズ、パネルなどの借用や講師の派遣など活動に大きな援助を頂いています。今回の再エネ講演・省エネ診断会も同NPOなどのご協力で実現しました。

◇城陽市市民活動支援センター（文化パーク1F）に加入しました。

電力会社	7/31 現在(世帯)
北海道	75,000
東北	40,500
東京	870,200
中部	108,600
北陸	3,900
関西	299,200
中国	4,600
四国	7,300
九州	63,700
沖縄	0
全国計	1,473,000
乗換率	2.90%

4月から はじまった電力の自由化

乗換率は2.9% 7月の増加数は20万8600世帯

4月の電力の小売り全面自由化で新電力と呼ばれる新しい電力の小売会社が500社以上生まれています。今、準備中の会社もありますのでさらに増えるものと思われます。

7月末現在で147万3000世帯の切り替え（乗換）がおこなわれ、全国の需要家を5011万世帯として計算すると2.9%になりました。4月末には81万9500世帯（1.6%）だったものが、5月末には100世帯を突破、100万6200世帯（2.0%）となり、6月末には126万4400世帯（2.5%）になっています。先に自由化が行われた英国では半数が乗換しています。日本でももっと乗換がすすむものと思われます。

（注：沖縄には新電力の会社がありません）

会員の皆様へ

9月上旬に5号基・9号基の第2回返済を予定しています。

新年度になりました。2016年度の会費（500円／年）がまだの方は納入をお願いします。

お振込み希望の方は別途ご連絡ください。